

英国での賢い銀行の利用法 その2

銀行を利用する上で注意すべき点は、日本と英国ではやはり異なります。賢い利用法を知り、上手にお金を運用しましょう。

質問

日本と比べて英国は預金金利が高いですね。高い金利を提示する銀行口座や税金などについて教えてください。

and
A
お答え

預金金利の見方

銀行によっては、ボーナス金利があったり、預金当初の一定期間、高い金利を提示することがあります。また、金利支払いの頻度が年1回、2回または毎月かによって表示金利が違ってきますので、AERと呼ばれる金利を目安にすると、各銀行の金利を比較するのに便利です。AERとは、Annual Equivalent Rateの略で、1年間の総利回りを示したものです。例えば、毎月支払われる4.89%の金利を複利計算すると、年利5%になります。よって、毎月4.89%を提示しているABC銀行と、年1回金利5%を提示しているXYZ銀行の金利は同じということになります。この5%がAERです。預金

金利を選ぶ時は目先の金利に惑わされず、このAERで選択するようにしましょう。

比較的、高金利を提示する口座

オンラインセーバーやウェブセーバーなどと呼ばれる、インターネット上で取引を行う口座の金利が高いようです。通常最低預金額はなく、いつでも引き出し可能(当座預金への送金により)と、柔軟性の高い口座です。ただし、インターネットバンキングの口座のある銀行に決済機能のある当座預金口座がなく、資金決済を他行へ送金して行う場合は、送金に最長1週間かかるので気をつけてください。常時余裕を持って、資金をある程度当座預金に残しておくようにすることをお勧めします。インターネット口座以外では、支店の維持や人件費等にコストがかかるため、やはり金利が少々低くなってしまいます。

銀行預金の利子にかかる税金

英国では銀行預金の利子も総合課税の対象になりますので、預金利子所得に対して一律20%の源泉分離課税の日本と大きく異なります。まず、銀行側が20%の所得税源

泉徴取を行い、高税率納税者(給与などの所得が37,295ポンドを超える方)には更に20%が(計40%)課税されます。一方、所得のない方であれば年間4,895ポンド(2004/05年度)まで利子所得を非課税で受け取ることが可能です。銀行にR85という書類を提出し、所得がない旨を証明することにより、利子を源泉徴収なしで「丸ごと」受け取ることができます。

英国での預金者保護

日本にペイオフがあるように、英国にも預金者保護のシステムはあります。1銀行が経営破たんした場合、最初の預金額2,000ポンドまでの100%が、次の33,000ポンドまでの90%が、英国金融監督庁の補償スキームにより補填されます。従って、最高31,700ポンドまでの預金が保護されます。それ以上のものについては、預金保護の対象になりませんので、破綻した銀行の清算状況によります。

著者プロフィール

和枝 ドゥルーリー FPC

(インディペンデント・ファイナンシャルアドバイザー) 十数年間の米英系投資銀行勤務を経て、F Aとして独立。日英両方の資格を有する。大手独立系F A会社に所属。難解な金融商品を日本語でわかりやすく説明できる在英の数少ない日本人ファイナンシャルアドバイザーの1人である。

E-mail: info@kazuedrury-ifa.co.uk
www.kazuedrury-ifa.co.uk

インターネット口座ベスト金利

銀行	口座名	AER	金利	引き出し
First Direct	E-Savings	5.0%	変動	いつでも可
Alliance & Leicester	Online Saver	4.75%	変動	いつでも可
ING Direct	Savings Account	4.75%	変動	いつでも可

インターネット口座以外の口座ベスト金利

銀行	口座名	AER	金利	引き出し
Sainsbury's Bank	Direct Saver	3.75%	変動	いつでも可
Natwest	Savings Direct	3.35%	変動	いつでも可
Abbey	Flexible Saver	3.3%	変動	いつでも可
HSBC	Premier Savings	3.0%	変動	いつでも可